

連結財政状態計算書分析

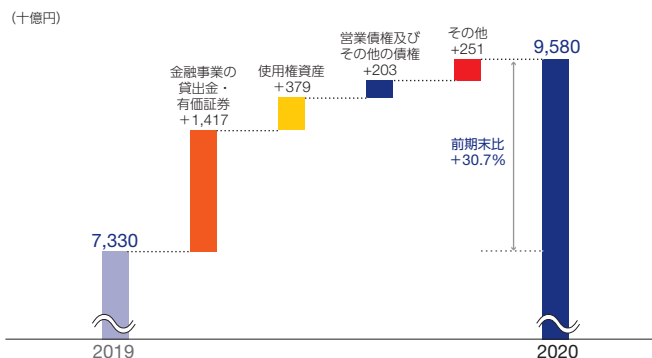
資産

(3月31日に終了した各決算期)

前期末比

↑ **2兆2,497億円増** 9兆5,801億円

じぶん銀行の子会社化に伴う金融事業の資産の増加やIFRS16号適用に伴う使用権資産の増加、au携帯電話端末の割賦販売方法の多様化による売掛金の増加などにより、資産は前期末比2兆2,497億円増となる9兆5,801億円となりました。

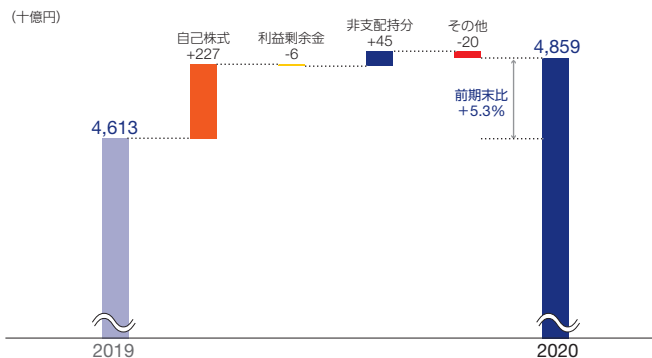


資本

前期末比

↑ **2,462億円増** 4兆8,591億円

2019年5月に自己株式の消却および利益剰余金から資本剰余金の振替を行ったものの、当期利益の増加に伴う利益剰余金の増加や非支配持分の増加などにより、資本は前期末比2,462億円増となる4兆8,591億円となりました。



有利子負債

前期末比

↑ **4,047億円増** 1兆6,804億円

IFRS第16号の適用や社債発行による社債の増加などにより、有利子負債は前期末比4,047億円増となる1兆6,804億円となりました。

D/Eレシオ

前期末比

↑ **+0.08pt** 0.38倍

利益剰余金の増加に伴い親会社の所有者に帰属する持分が増加したものの、IFRS第16号の適用に伴う有利子負債の増加により、D/Eレシオは前期末比0.08pt上昇となる0.38倍となりました。